



昭和29年生まれ。玉川大学農学部卒業。平成2年6月から藤井産業㈱代表取締役社長。平成10年11月に当所常議員就任。平成27年2月当所商業卸部会長就任。平成28年11月に副会頭就任。令和元年11月会頭に就任し、現在に至る。ほかに北関東電機資材卸業協同組合理事長、(一社)宇都宮工業団地総合管理協会理事長を務める。

宇都宮商工会議所 会頭

藤井 昌一

FUJII SHOICHI

「宇都宮に宿泊してオリエンティック観戦をして欲しいですね」(佐藤市長)
佐藤 商工会議所で実施した「商店街来街者実態調査」(以降「来街者調査」)の結果報告が会報にも掲載されましたが、少し明るい兆しが見えてきているようで、心強いですね。

藤井 私たち企業側も「宇都宮市にはこんなに良い企業がたくさんある」という企業PRに、もっと力を入れていくつもりです。
佐藤 学生は、そもそも地元どんな良い企業があるかを、知らないんです。だから情報を与えてあげると、彼らにも「地元企業への就職」という選択肢が増えると思います。

佐藤 若者のUターン就職支援も、行政の重要な役割です。宇都宮市では、18歳から39歳までの人口における女性の比率が少ないです。東京に進学した方々が、卒業後にそのまま県外で就職してしまう傾向が強くなります。そこで、企業が女性を雇用した場合に補助をしたり、市内の企業に就職する人に向けた家賃補助、家を購入する場合は取得補助などを進めています。その中で、女性の就業率を上げていきたい。すぐに効果が出る施策ではありませんが、長く続けていくことでプラスを生み出したいと考えて、推進しているところです。

佐藤 5月の大型連休(10連休)は、いかがでしたか。
藤井 大嘗祭では「とちぎの星」という栃木ブランドのお米が選ばれ、注目されました。この品種で醸造したお酒が売り切れるなど、経済効果もあったと思います。

特集1

新春×対談



平成から令和に変わった 2019年を振り返って 働き方改革・消費税率・キャッシュレス決済などがキーワード

藤井 観光業界やサービス業界にとっては大きなチャンスとなりましたね。ただ、企業の人手不足は観光業界やサービス業界でも深刻で、予約を抑えざるをえなかった企業もあると、新聞報道がありました。
人手不足と関連しますが、経営者としての立場からは「働き方改革」が大きなキーワードでした。

藤井 当所では「働き方改革相談窓口」を設置して会員企業にセミナーなどを開催し、中小企業等への啓蒙活動を進めているほか、さまざまな相談にも対応しています。本誌でもいろいろな角度から何度も特集を組んでいます。
佐藤 今までは「働け、働け」という世の中でしたから、経営者も従業員も頭の切り替えが大変でしょう。
藤井 労働環境を改善することは、人材確保にも関係します。現在、企業の規模に関係なく、日本中で人手不足感があり、切実な経営問題になっています。

「宇都宮市には良い企業がたくさんある」という情報発信を(藤井会頭)

佐藤 宇都宮市としても、企業の方々に支えていきたいと考え、さまざまな施策を行っています。

藤井 当所では行政や「栃木県事業引継ぎ支援センター」などと強く連携し、事業承継支援に取り組んでいます。相談に来るのを

「働き方改革は、企業だけでなく行政にとっても、重要な課題」(佐藤市長)

藤井 佐藤市長、新年あけましておめでとうございます。
佐藤 おめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。また、会頭就任おめでとうございます。力強いパートナーの誕生を、お祝い申し上げます。

藤井 ありがとうございます。まだまだ勉強中ですが、よろしくお祈りします。

佐藤 昨年1月25日に関口快流会頭(当時)の訃報に接した時には、大変驚きました。改めてお悔やみ申し上げます。

藤井 お気遣い痛み入ります。今でもあの笑顔が目に浮かぶようです。

佐藤 昨年はさまざまなことがありました。何より大きいのは、やはり平成が終わって令和が始まったことでしょうか。

藤井 本誌恒例の新春対談をお届けします。平成から令和へと時代が変わった昨年は、さまざまなトピックがあった年でもありました。

佐藤 藤井市長と藤井昌一会頭に、昨年を振り返りながら、新しい年に向けての抱負を話していただきました。

宇都宮市長

佐藤 栄一

SATO EIICHI



「働き方改革」などさまざまなテーマでセミナーや研修会、講演会を開催

藤井 ありがとうございます。まだまだ油断はできませんが、中心商店街の活性化をさらに支援していきたいと考えています。

佐藤 それにしても昨年の11月2日（土）、3日（日）の中心部の人出には、本当にびっくりしました。

藤井 例年の「宮の市（商業祭）」「ミヤ・ジャズイン」それに「宇都宮餃子祭り」に加えて、二荒山神社大鳥居前パンバひろ



ばで、3人制バスケットボールのクラブ世界一が決まる「3x3ワールドツアーファイナル」が開催されましたから、大変なにぎわいでした。

佐藤 当日は、約25万人の人出があったと聞いています。前年度開催した餃子祭り等が約15万人ですから、3x3も加わり、全体で約10万人も増えています。

藤井 3x3は、間近で迫力あるプレーを見させていただきました。観客席に飛び込んでくるんじゃないかと思うくらい、激しいプレーの連続で、興奮しました。

佐藤 5人制バスケットも、実際に観戦するとコートと観客席が近いので、迫力がありますよ。だからおもしろいんです。それに、サッカーや野球と違って、比較的狭い場所で開催できるのも利点だと思います。

藤井 3x3はまさに、狭い場所でもできるストリート・スポーツですね。バスケのゴール下の、いちばん手に汗握るところだけを切り出している感じです。3x3はオリンピック種目にもなり、注目度が上がっています。

佐藤 オリピックといえば、益子町がハンガリー、那須塩原市がオーストリアのキャンプ地に決まっています。栃木県が力を入れて誘致しています。

藤井 宇都宮市に3x3のチームが来ると、うれししいし、盛り上がりそうですね。

佐藤 3x3であれば、アメリカカセルビアに来て欲しいと思います。昨年のファイナルで優勝を争った2チームですから。特にアメリカは、バスケットボールはお家芸ということもあるのか、近年非常に力を入れています。

藤井 宇都宮市は東京に新幹線で1時間の範囲内です。そうすると西口にも機運が盛り上がりつつあると思います。東西交通の問題点の解決として、商工会議所も期待しています。

佐藤 商店街や自治会の方々にも、要望論ができてきました。完成すれば、東側の街の様子は、がらりと変わります。東が完成したら続いて西、というふうに順調に進めばいちばん良いのですが。

藤井 できれば、大谷までつながると良いですね。

佐藤 そこまでいけば、大成功です。藤井 LRT開業予定は2022年3月。この年には大谷スマートIC（仮称）の開通も予定されています（9月）。また国体も開催されます。盛りだくさんの年になりますね。

佐藤 大谷といえば「地下迷宮の秘密を探る旅」大谷石文化が息づくまち宇都宮〜」が2018年5月に日本遺産に認定されました。宇都宮の大きな観光資源として、今後ますます大谷への注目が集まると思われれます。

藤井 観光資源としては大谷観音、大谷資料館、景観公園などがありますが、さらに観光客にアピールできるコンテンツが欲しい気もします。

佐藤 体験型コンテンツとして地底湖クルージングが人気です。また、森林公園を含めたキヤンプターの計画も出ています。あとは、レストランが増えるのがありがたいですね。

藤井 昨年、台風19号による被害や宇都宮

「台風19号被害対策のための相談窓口を設置、支援を行いました」（藤井会長）



平成から令和に元号が変わったことを奉祝するポスター

距離です。オリンピック観戦の旅行客にも来てくれたらと思います。東京都内は、もうオリンピック期間中のホテルは予約が非常に難しいそうです。

佐藤 大宮もほとんど埋まっていると聞いていますから、ぜひ宇都宮に泊まってオリンピックへ行っていたいところです。

「キャッシュレス決済導入は大きなビジネスチャンスになります」（藤井会長）

藤井 経済関係での昨年のニュースでは、消費税引き上げも大きなトピックでした。

佐藤 消費税率引き上げについては、皆さんさまざまに苦慮されていたのではないかと思います。

藤井 宇都宮市にも中小企業等に対するさまざまな支援をいただいております。大変ありがたく思っています。消費税率引き上げと同時に進められた軽減税率制度導入で、小規模企業や個人商店でも業務が増えるなどの負担をかけていると思います。軽減税率の基本的な考え方はシンプルですが、実際の運用はいろいろ複雑ですから――。

当所では3年前から軽減税率対策のための相談窓口を設けてきました。また、セミナーや本誌を通じて啓蒙活動も続けてきました。さらに軽減税率に対応したレジの導入、特にPOSレジ導入の支援を実施しています。当所の事務所に体験コーナーを設置しています。3月まで設置しているので、会員の皆さまにはぜひご利用していただきたいと思っております。

佐藤 キャッシュレス決済の導入も課題ですね。

藤井 宮パルコ店閉店など、暗いニュースもありました。

台風19号は、宇都宮市にも大きな被害をもたらしました（10月）。当所では「令和元年台風第19号による災害に関する特別相談窓口」を設置し、中小企業等の支援を実施しています。

佐藤 宇都宮市でもいち早く情報発信に努めるとともに、さまざまな支援制度を実施し、できるだけ多くの方にご利用いただけるようにしています。金銭面の援助だけでなく、ボランティア派遣なども積極的に実施しました。

藤井 田川から溢れた泥水で大通りや千波町周辺が冠水するなど、中心部は大きな被害を受けました。また、大谷も姿川が氾濫しました。

佐藤 実は、姿川は県が治水のための工事をしているところでした。今回の災害を受け、県が大谷街道から上流の整備について、方法も含め検討している最中ですので、その動きを注視しているところです。今回は、皆さんが頑張ってくださいとおかげで、災害から3日目に工事着工し、10日程度で乙女橋も観音橋も通れるようになりました。大谷は観光も注目されていますから、市としても今後積極的に支援を行ってまいります。

「商工会議所と連携、企業が経済活動を持続できる社会を」（佐藤市長）

藤井 話題は尽きませんが、最後に今年の抱負で締めたいと思います。

佐藤 宇都宮市が、これから持続可能な発展を続けていくためには、地域の企業の力



11月2日（土）、3日（日）に開催された「FIBA 3x3World Tour Utsunomiya Final 2019」

藤井 消費者は、かなりの割合でキャッシュレス決済を利用しています。来街者調査でも、20代〜40代は約40%、60歳以上でも25%は利用している結果が出ていますので、店舗側の対応が遅れると売り上げが落ち込むことも予想されます。キャッシュレス決済導入のハードルはかなり低くなっていますから、当所としてもさらに支援する予定です。キャッシュレス決済への対応は、大きなビジネスチャンスでもあるのです。

「LRTが開通すれば、駅東の街の姿は大きく変わります」（佐藤市長）

藤井 LRTの工事は順調に進んでいます。おかげさまで、大変順調です。徐々に形ができてつあります。2月には、工学会も実施します。

藤井 LRTの開通は、計画期間を3年計画とする中期事業計画を策定しています。今年が起点の年になりますので、今までの以上に市内の企業を支援していけるよう、頑張るつもりです。そのためには宇都宮市に協力をお願いしながら、市内の中小企業等が元気に、活力をもって、将来に夢が持てるように、そのお手伝いをやっていきます。経済が明るくならないと、社会全体が前に進みませんので、ぜひとも頑張りたいと思います。皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

藤井 当所では現在、計画期間を3年計画とする中期事業計画を策定しています。今年が起点の年になりますので、今までの以上に市内の企業を支援していけるよう、頑張るつもりです。そのためには宇都宮市に協力をお願いしながら、市内の中小企業等が元気に、活力をもって、将来に夢が持てるように、そのお手伝いをやっていきます。経済が明るくならないと、社会全体が前に進みませんので、ぜひとも頑張りたいと思います。皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

藤井 当所では現在、計画期間を3年計画とする中期事業計画を策定しています。今年が起点の年になりますので、今までの以上に市内の企業を支援していけるよう、頑張るつもりです。そのためには宇都宮市に協力をお願いしながら、市内の中小企業等が元気に、活力をもって、将来に夢が持てるように、そのお手伝いをやっていきます。経済が明るくならないと、社会全体が前に進みませんので、ぜひとも頑張りたいと思います。皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



11月2日（土）、3日（日）に宇都宮城址公園で開催した「宇都宮餃子祭り2019」